

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

作成班 / 田中

対象 (時間): 子育て期の親, 働く人等 (50分程度)

教材番号「27」: 「向き合ってみよう... ~仕事と「子育て」の調和のために~」

【ねらい】 仕事と生活(子育て)の調和を図り、子どもや家族と向き合うことの大切さについて考える。

【準備物】 学習者: 筆記用具

主催者: 名札, フォーシート, マンケット用紙, 横線紙, 付箋紙, フェルトペン

時間	活動の展開	留意点	備考
(3分)	名札対峙 (来迎準備)	全員が名札をつける	*スケジュールを板書しておく。 *机の島をつくる。
14:00	ファミリーター (学習支援者) 自己紹介, 主旨の説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は予め了解を取る。	
14:03~ (7分)	アイスブレイク 「ナンバーコール」	初対面の人同士が参加者が自由に意見を出し合うための「ファシリテーター」になる。 *自己紹介を含める。 *グループ分け... 1グループを4名	
14:10~ (10分)	タイトル, ねらいを読む。 <エピソードを読みおろす> *各自各自黙読する。 *次にファミリーターが読む。 *ルール説明	三つの約束 (発言の平等, 人の発言を肯定, 秘密の保守), F.F.L. 言いたくないことや話さず済む。(IPス有り)	
(20分)	<考えおろす> *設問に記入し, 話し合い (6分) *グループ内で話し合い (4分)	*①, ②は, ファシリテーターが話す。 *③は, 設問 (ファミリーターが例題をF.L.促す) *1人1分	
14:20~ (24分)	<考えおろす, 出し合いおろす> *「働きながら子育てがどう大変なのかな」とか「生活の時間の工夫」を考え, 話し合い。 (15分) *話し合ったことを紹介する。 (9分) 1人1分	*「悩みや不安」「生活の時間の工夫」を付箋紙に書き出し, 出し合いながら話し合う。 *付箋紙は, ①と②の項目を使い色を変える。 *付箋紙は, 1枚に1つ考えにことを書く。 *同じよう「意見をまとめる」。 *子育て中の「親自身」がどう感じているのか。「調」の「調」について考える。 *子育て中の人, 子育て中以外の人への言葉遣いに注意する。	
14:44~ (5分)	<学習を振り返りおろす> *ファミリーターの話		
14:49~ (1分)	*終了・片付け *マンケット用紙		
(メモ)			

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

作成班 2 班

対象 (時間): 子育て中～介護中の人たち (50 分程度)

教材番号「27」: 「向き合ってみて...」の「専」と「子育て」「介護」の調和の「めい」

【ねらい】

【準備物】 学習者: 筆記用具

主催者: ワークシート、A4用紙、A4用紙、A4用紙、模造紙、付箋紙、フェルトペン。(2色)

時間	活動の展開	留意点	備考
(5分)	受付でグループ番号 着席。 ファシリテーター(学習支援者) 自己紹介、主旨、ルール説明	A4用紙にグループ番号を書いておく	A4用紙 フェルトペン
5分	アイスブレイク (自己紹介) 「4つの窓」 2分で書く 3分でグループ内で紹介	①ニッポン (今日の呼び名) ②朝食X=2- ③女子はニヒ ヤリハイニヒ ④今の生活を 今にしたい	A4用紙 ワークシートを配る
5分	タイトル ねらいを読む 〈エピソードを読みましょう〉 黙読する。 3人役(ヒーロー、子猫、私)	3つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)を話し、パズル(掲載用準備)	
5分	〈考えましょう〉 ①②③をグループで意見を出し合う	寸劇ぶつに...ファシリテーターが3人役を選出する。 エピソードを聞いて感じたことをグループ内で出し合う	
12分	〈考えましょう。出し合ひましょう〉 ①②を各自付箋紙に 書き出してもらう。(2分間) 各自書いた①②の付箋紙をグループ内で 出し合ひ、模造紙に貼っていく(10分間)	付箋紙 2色 ① ②を模造紙へ貼る。 模造紙 ①②枠を事前に書いておくは時間短縮。 事前にグループ内で司会役、発表役を 決めるよう声かけ	模造紙 付箋紙 2色
10分	グループ毎に発表してもらう。	模造紙を赤しほひ、発表する。	
8分	〈学習を振り返りましょう〉 各自書き込む。 グループ内で出し合う、交流する。 ファシリテーターおまけの話。 アンケート 終了、片付け		
(メモ)			

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

作成班

3班

対象 (時間): 50分

(50分程度)

教材番号「27」:「向き合ってみて...」仕事と子育ての調和のためへ

【ねらい】仕事と生活(子育て)の調和を図り、子どもや家族と向き合うことの大切さについて考える。

【準備物】学習者:筆記用具

主催者:ワークシート・名札・ポストイット/A4用紙3枚×グループ数、マシク、アンケート用紙、カメラ、3つ999東、ホワイトボード

時間	活動の展開	留意点	備考
(分)	○名札付け (来た順に)	○色付した名札に名前を書く。	
10分	○ファシリテーター 自己紹介・主旨・ルールなどの説明。	○写真を撮る場合の了解を取る。	
10分	○アイスブレイク。		
2分	○タイトル・ねらいを読む (サテが読む)	○3つの約束 + 1	
7分	<エピソードを読みましよう> ○まずは各自で黙読する。 ○読み手を分けて、声を出して読む。	○絵をよく見て、 情景を思い浮かべる。	
35分	<考えましよう> ○①を各自、記入する ○参考資料を説明し、目を通しからう	→ポストイットで読み上げる (男女の考え方の違い、1人親の場合など)	
7分	<考えましよう、出し合いましよう> ○働きながら子育てする上で困ったこと 各自記入し、班で出し合い、話し合う	○各班の代表が発表すること:共有する。	
3分	○各班の代表が発表する。		
10分	○「生活の中での工夫」を考え、各自 記入し、班で話し合う。	○家庭・地域・職場、それぞれの場面でのことが を確認する まとめる時、 ^① 家庭内の工夫 ^② 地域内の工夫 ^③ 職場での工夫に任せます	
	○話し合ったことを発表する。	○まとめた用紙を張り出す。	
	<さらに考えましよう>	○かみくばいて、説明する。(例を出しながら、サテが行う)	
3分	「子育て期」の「ワーク・ライフ・バランス」を 実現するため、どんなことを大切に すればよいか? を考え各自記入する	→学習の振り返りは各自、家庭に、家庭で話し合い してからう	
5分	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う →アンケート記入者から流氷解散	
(メモ)			

「親の力」をまなびあう学習プログラム 展開案

作成班 4班

対象 (時間): 保育所に通わせている保護者(子育て) (50分程度)

教材番号「27」: 「向きあってみて...仕事」と子育ての両者のために~」

【ねらい】 (仕事と生活(子育て)の調和を図り、子どもや家族と向きあうことの大切さについて考える。

【準備物】 学習者: 筆記用具

主催者: 名刺、ワークシート、アセット用紙、模造紙、フェルトマツ

時間	活動の展開	留意点	備考
(分)	名刺しつけ(手帳順に) 果物カードと交換して子⇒机にカード	・向きあかにグループ分けができる ・発表者、司会も決めて備定しておく(印シテおく)	机にカードを置く グループ数に応じて机の配置
3分	○ファシリテーター 自己紹介、指、ルール説明	・なごやかな雰囲気作りを心がける。 ・写真とる場合は、事前了解を取る。	
5分	○ファシリテーター 「アソビ」 グループに分かれて自己紹介	・初対面の人間、自由に意見を出しあえるような雰囲気を作る。 ・名前と家族状況(子どもの人数)を紹介	アソビの準備
5分	○タイトル、ねらいを議決。 子の約束 〈エピソードをふましよう〉 参加者に配慮を求め話しあう。	・子の約束(発言の平等、人の発言尊重、秘密の保持) は話しあうことな事は話さない。 ・「親の力」の素朴なや、社会全体で子どもを育てる大切さについて丁寧に説明する。	
11分	〈考えよう〉 ○議題に記入、話しあう。(①、②) ○話しあったことを紹介する	・エピソードにそって話しあう。 ・①、②のみ考えてみる。	
19分	〈考えよう〉、出しあしよう ○「働きたい子育てがしたい生活のほかに何か」と書き出そう ○話しあったことを全体で紹介しよう	・悩みや不安を個別に書き、グループ内で出しあう。そのほかで自分でできる事、してほしい事をだしあう。 〈考えよう〉③につなげていく。 ・大きい模造紙に、悩みとその事を並べて書く。 ・他グループの発表は模造紙を見たり書き、共有を図る	
2分	〈さらに考えよう〉	・自分自分のできる事、家族、地域が出来る事を考えてみる。	
2分 3分	〈学習を振り返りしよう〉 ○ワークシートに記入する。 ○ファシリテーターの話 〈さらに考えよう〉と5分	※必ず自己振り返り振り返り時間をもつ。 ○ワークライフバランスについて話し、生活を豊かにしていくための方法や工夫を考える。 ○仕事の方の多様性、柔軟性を認めあう視点をもつ	
2分	終了、片付け アセット 記入	・全員で行う。 ・アセット記入者から流れ解散	

〈メモ〉